

## 南海トラフ巨大地震による国被害想定 の公表にあたっての知事コメント

前回の被害想定結果と比較すると、和歌山県の場合、震度分布に大きな変化は見られませんが、地形データの精度が高まったことで、津波浸水面積は約1割増加しています。

しかし、死者数が1.5万人減少しており、その大部分は津波によるものとなっております。これは、この10年間の「津波避難タワーの建設」や「津波避難ビルの指定」などの避難対策や、建物の耐震化率の上昇が反映された結果であると考えています。

県では、今回国から公表された「半割れケース」や「災害関連死」など新たな項目も踏まえ、より詳細な被害想定を行うこととしており、有識者からなる検討委員会から助言をいただきながら、2025年度中の公表をめざして現在取り組んでいるところです。

今後も、市町村とともに防災減災対策を一層推進し、災害対応力を高めてまいります。

(連絡先)

危機管理部危機管理局防災企画課

担当：藤戸、坂本

電話：073-441-2271

内線：2271